

Nippon ビジネス戦記

サンジーヴ・スィンハ



女性と外国人を力に

「日本はグローバル化が不可欠」という話をよく聞く。そのために必要な要素の一つは、多様な人材を受け入れて活用する「ダイバーシティー&インクルージョン(D&I)」の考え方だろう。

私が理事を務める特定非営利活動法人(NPO法人)の「GEWEL」はこのD&Iを推進しており、先日、日本の女性と在日外国人の起業家をどう育てるかをテーマに議論した。話題の一つは起業家の資金調達について。以前は女性起業家が資金を調達しようとすると夫の職業をまず聞かれることが多く、外国人も、外国人というだけで融資の条件が厳しかった。だが、最近は起業家としての資質や事業プランを重視する制度が日本に出てきている。

女性起業サポートセンターを昨年設立した日本政策投資銀行は今年、女性起業家の新しいビジネス

プランのコンペを開き、効率的な農業流通モデルを提案して大賞を受賞した女性起業家に、最大1000万円の事業奨励金を提供するという。外国人起業家に対しても、成長が見込めるビジネスプランをサポートする動きが徐々に広がっている。

日本では女性のほうが男性よりよく外国語を勉強し、海外旅行にもよく出かけるそうだが、残念ながら日本人女性が経営者に占める割合は世界で最低水準だ。また、在日外国人も「財界」と呼ばれる日本の均一的なビジネスコミュニティに参加しにくいのが現状だ。D&Iの推進にはこうした状況も変える必要がある。世界に目を向ける優秀な女性と在日外国人の力が合わされば、日本のグローバル力の底上げにつながるだろう。

(サン・アンド・サンズ グループ代表)